

3.19.1 産業振興部門 事業化支援室

室長 松田和男 ほか3名

情報通信ベンチャーに対する情報及び交流機会の提供

【概要】

次世代のより豊かで多様な情報通信サービスを実現するため、独創的な技術のシーズを有し、かつ、資金調達が困難な情報通信ベンチャー企業に対し、情報通信ベンチャーの事業化に役立つ情報及び交流の機会を提供することにより、情報通信ベンチャーの有する有望かつ新規性・波及性のある技術やサービスの事業化などを促進している。

(1) イベント等の開催

地域のICTベンチャーが、工夫を凝らした新規事業を発表しビジネスマッチングにチャレンジする「起業家万博」や、将来の情報通信ベンチャーの担い手となる高専生、大学生等の若手人材の発掘・育成を目的として、「起業家甲子園」を開催している。

また、地域のICTベンチャーに対する展示会への出展機会の提供や地域のICTベンチャーを支援する団体等と連携してイベント（「ビジネスプラン発表会」等）の開催等により、地域のICTベンチャーの事業化促進、発掘・育成を支援している。

(2) インターネット上での情報提供

インターネット上に開設したWebページ「情報通信ベンチャー支援センター」<<http://www.venture.nict.go.jp/>>において、NICTの支援施策や全国のベンチャー助成施策の紹介など、情報通信ベンチャーに対して有益でタイムリーな情報を収集・提供している（図1）。



図1 情報通信ベンチャー支援センター

【平成27年度の成果】

(1) イベント等の開催

① 起業家甲子園

平成28年3月8日に、コクヨホール（港区）において開催した。当日は、全国の大学や高専のイベント等から選抜した学生チーム11チームによるプレゼンテーションが行われ、総務大臣賞に公立はこだて未来大学大学院「Pecily ～公共交通情報のプラットフォーム～」、審査委員特別賞に関西学院千里国際中等部「The STYLES」と立命館大学「ICTを活用した認知症予防コミュニティ『まなびや』」が選ばれた。



図2 プレゼンテーションの様子



図3 総務大臣賞



図4 発表者との記念撮影

また、各出場チームには、協賛企業から特別賞が授与された（図2～4）。

② 起業家万博

平成28年3月9日にコクヨホール（港区）において開催した。全国8地域（北海道、福島、石川、長野、

愛知、大阪、広島、福岡)のベンチャー支援団体からの推薦を受けたベンチャー企業8社によるプレゼンテーションのほか、会場内に設けた展示ブースでは、ビジネスマッチング及び製品・サービスのPRが行われた。コンテストでは、総務大臣賞にドレミングアジア株式会社「給与担保のカード代替決済システム『Payming』」が、オーディエンス賞に株式会社イヌパシー「犬の幸福度プラットフォーム：イヌパシー」が選ばれた。また、各出場企業には、協賛企業から特別賞が授与された。そのほか、地域支援団体賞に北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会、SPARK! TOHOKU2015 実行委員会、長野県が選ばれた(図5～7)。



図5 プレゼンテーションの様子



図6 総務大臣賞



図7 発表者との記念撮影

③ 展示会への出展等

平成26年度起業家万博に出場したベンチャー企業に対して、「Interop Tokyo 2015 (平成27年6月)」、「スマートフォン&モバイル EXPO (平成27年10月)」での出展機会を提供した。展示ブースにおいて、各社の製品・サービスのPRが行われ、来場者とのビジネスマッチングが図られた(図8)。



図8 展示会

その他、地域の有望な情報通信ベンチャーを発掘・育成するため、総務省地方総合通信局等や地方ベンチャー支援団体等と連携し地域イベントの充実を図った。また、若手や学生の起業家を発掘・育成するため、大学等と共催し講演会や学生のビジネスプラン発表会を開催した(表1)。

表1 イベント等の開催状況

イベント・セミナー		開催件数	参加人数(延べ)
開催件数及び参加人数の合計		33件	2,244名
内 訳	《起業家万博》	1件	171名
	《起業家甲子園》	1件	156名
	《地域連携イベント》 地域支援機関と連携して、ビジネスプラン発表会等を開催し、地方発の有望なICTベンチャー企業を発掘	14件	1,192名
	《大学・高専イベント等》 全国の大学及び高専等と連携して、ビジネスプラン発表会等を開催し、若手起業家候補生を発掘	15件	725名
	《展示会》 大規模展示会において、ビジネスPRによるビジネスマッチング	2件	—

(2) インターネット上での情報提供

「情報通信ベンチャー支援センター」において、昨年度に引き続き情報通信ベンチャーに有益な情報提供の充実を図るべく、全国各地で開催した地域連携イベントの状況を速やかに配信したほか、起業家甲子園、起業家万博のビデオライブラリ公表等を実施し、情報内容の一層の充実を図った。また、約5,700名のニュース配信会員に対し、定期配信(2週間に1回)及び臨時配信を行った。

(3) アンケート調査及び意見の反映等

イベントごとに行った参加者へのアンケート調査では、約97%の回答者から肯定的な回答を得た。アンケートから得られた意見・要望については、地域のベンチャー支援団体等からの要望とともに、支援団体相互の連携を強化するための取組に活用した。